



# 中之島だより

令和2年11月号

和歌山市立中之島小学校



## 深まる 秋

【校長 太田 謙二】

気がつけば、今年もあと2か月。周りの木々が色づき、秋の深まりを感じる季節となりました。

秋といえば、「〇〇の秋」イメージする秋は人によってそれぞれ違うのではないのでしょうか。食欲の秋、読書の秋、スポーツの秋、芸術の秋、実りの秋など。あげてみると、どれもそうだなと思います。それだけ季節的に、何事にも落ち着いて取り組むことができるいい時期だと言えます。



さて、先月の13日、14日に6年生が、修学旅行へ行ってきました。例年は奈良・京都ですが、今年は、新型コロナウイルスの関係で行き先を変更し、紀南方面へ行きました。バスの中ではもちろんマスク着用、座席を1つずつ間隔をあけ、常にバスに乗る前は必ず手指消毒など感染症対策をした上で・・・。

1日目は、まず串本海中公園へ行って、それから橋杭岩、大門坂、那智大社、那智の滝、そして、那智勝浦町の「かつうら御苑」で泊まりました。子供たちは、大門坂を歩いて熊野古道の神秘的な世界を味わい、那智の滝の壮大さに見入っていました。結構、階段の上り下りが大変でした。



2日目は、太地のくじらの博物館とエネルギーランドへ行きました。くじらのエサやり体験やくじらショーなど初めての経験に興奮気味でした。奈良・京都では味わえない、地元和歌山の魅力を再発見する貴重な機会になりました。2日ともいいお天気で、けがや体調を崩す子もなく、全員無事に行ってくることができました。一生の思い出に残る素敵な修学旅行になったと思います。

11月もまだまだ、5年生の高野山合宿など、各学年、行事がたくさん予定されています。また、子供たちのためにと、PTAの「なかのしまふれあいまつり」も今月計画されています。行事だけでなく、様々な学習や活動を通して、学校生活を充実させ、子供たち一人一人が自信を深めていって欲しいと願っています。保護者の皆さま、地域の皆さま、引き続きご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

